



# プレスリリース

## 速報版

### GENIVI アライアンスは新しいオープンソース 車両シミュレータープロジェクトを発表

シミュレートされた運転条件で GENIVI 開発プラットフォーム (GDP) の  
新しいユーザーインターフェイスをテストするためのプロジェクト

米国カリフォルニア州サンラモン - 2016 年 9 月 20 日 - 自動車業界を対象としたオープン  
車載インフォメーション (IVI) とコネクティビティ・ソフトウェア・プラットフォームの開発を扱う非営利団体、  
GENIVI アライアンスは、GENIVI 車両シミュレーター (GVS) オープンソースプロジェクトを開始し、デ  
ベロッパー向けとエンドユーザー向けコードの両方がただちに利用可能になったことを本日発表しました。

[GVS project](#) とサンフランシスコの Elements Design Group とオレゴン州ポートランドの  
Jaguar Land Rover Open Software Technology Center により開発された最初のソースコード  
は、アダプターがシミュレートされた運転条件で IVI システムのユーザーインターフェイスの試験を安全に  
開発するのに役立つオープンソースの拡張可能運転シミュレーターを提供します。

「用途には複数の可能性があります、GVS は現在利用できる最も総合的なオープンソース  
の車両シミュレーターであると確信しています」と語るのは、GENIVI アライアンスのエグゼクティブ・ディレク  
ター、スティーブ・クラムです。「バーチャルシミュレーション環境で新しい GENIVI 開発プラットフォームの  
ユーザーインターフェイスをテストするために使用されたのが最初です。必要な設計変更を素早く効率  
的に見極め実施するのに非常に役立ちました」

-続く-



コラボレーションやコントリビュートが目的であり、単にソフトが使いただけであり、GVSは以下を備えた、リアルなドライビング・エクスペリエンスを提供します。

- 障害物 - 障害物は運転中にADMINによってトリガーされます。バーチャル・シミュレーション環境でドライバーが障害物にぶつかった場合、そのイベントは違反としてログされ、ドライビング・セッション終了後にレビューすることができます。
- 違反の記録 - 記録される違反には、一時停止違反、赤信号無視、二車線道路で黄色の二重線はみ出し、地形突起物や他の車両、障害物への衝突などが含まれます。
- 違反のレビュー - ドライビングセッション終了時に、ADMINとドライバーは、違反時に関連する車両データが表示され保存できるスクリーンショットを表示して、今終わったセッションの違反を見直すことができます。

詳細や、コードのレビュー、車両シミュレーターのセットアップ開始などについては、[projects.genivi.org/gvs](https://projects.genivi.org/gvs) をご覧ください。

###

## GENIVI アライアンスについて

[GENIVI アライアンス](#) は自動車業界を対象にしたオープン車載情報 (IVI) とコネクティビティプラットフォームを扱う非営利団体です。140社以上の企業が参加するグローバルなネットワーキングコミュニティで、コネクテッド・カーの関係者と世界トップクラスの開発者を協力的な環境で結び付けることにより、無料のオープンソースミドルウェアを提供しています。GENIVI の本部は米国カリフォルニア州サンラモンにあります。

## 報道関係お問合せ先 - GENIVI アライアンス:

Craig Miner (グレイグ・マイナー)

GENIVI アライアンス

+1.248.840.8368

[cminer@quell.com](mailto:cminer@quell.com)